

特255  
236

十一年十二月

日本精鑛株式會社事業概要

始



特 255  
236

昭和十一年十二月



日本精鑛株式會社事業概要





日本精鑛株式會社事業概要 目次

一、緒言	一
二、鑛區	一
三、操業ノ現況	三
(一) 中瀬鑛山	四
位置及交通	四
沿革	四
地質及鑛床	五
探鑛	六
探鑛計劃	七
選鑛及精鍊	一〇

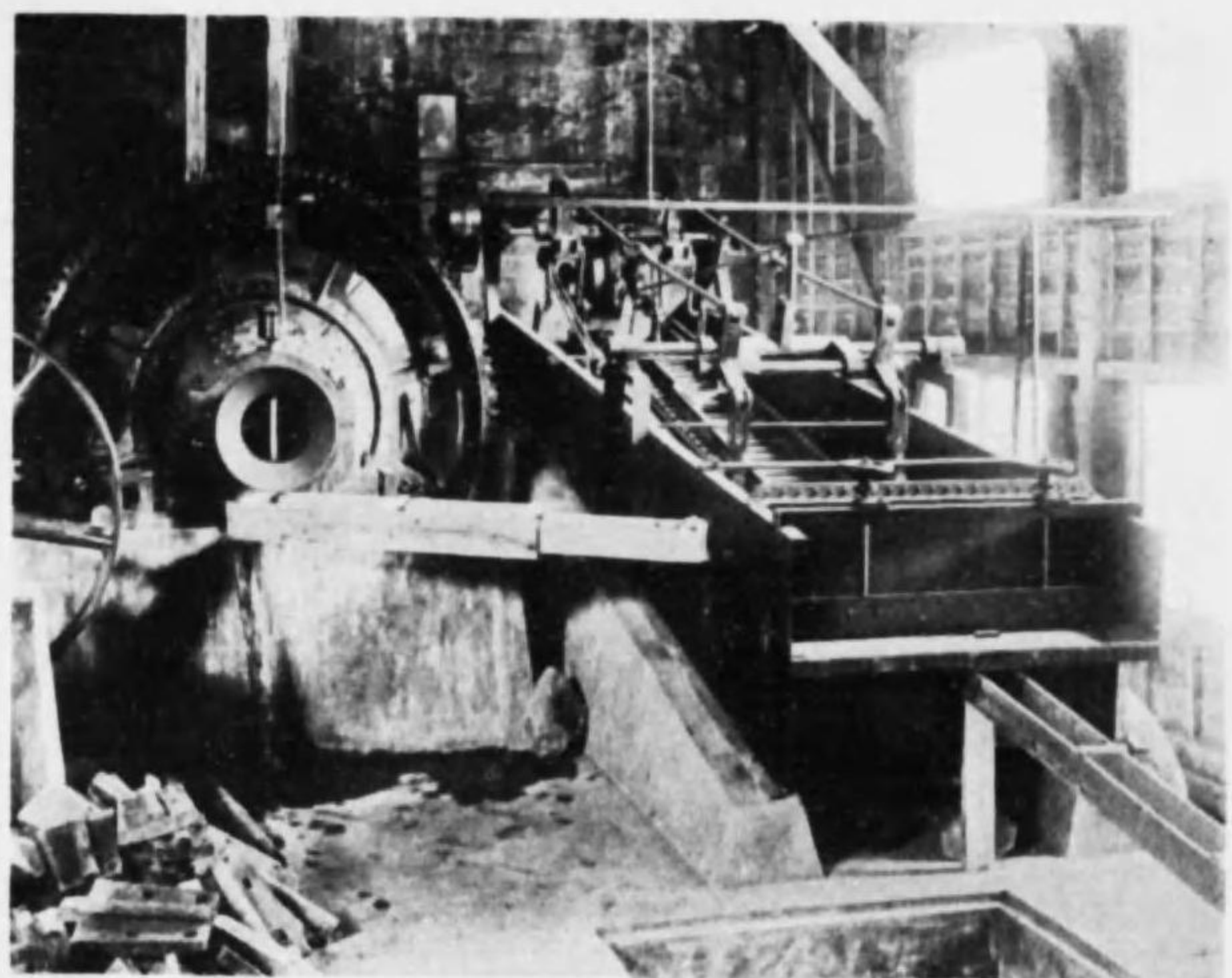
結論	一
(二) 小代鑛山	一
位置及交通	一
地質及鑛床	二
探鑛及探鑛	三
結論	三
(三) 澤田鑛山	四
位置及交通	四
地質及鑛床	五
探鑛	七
選鑛及精鍊	七
結論	七



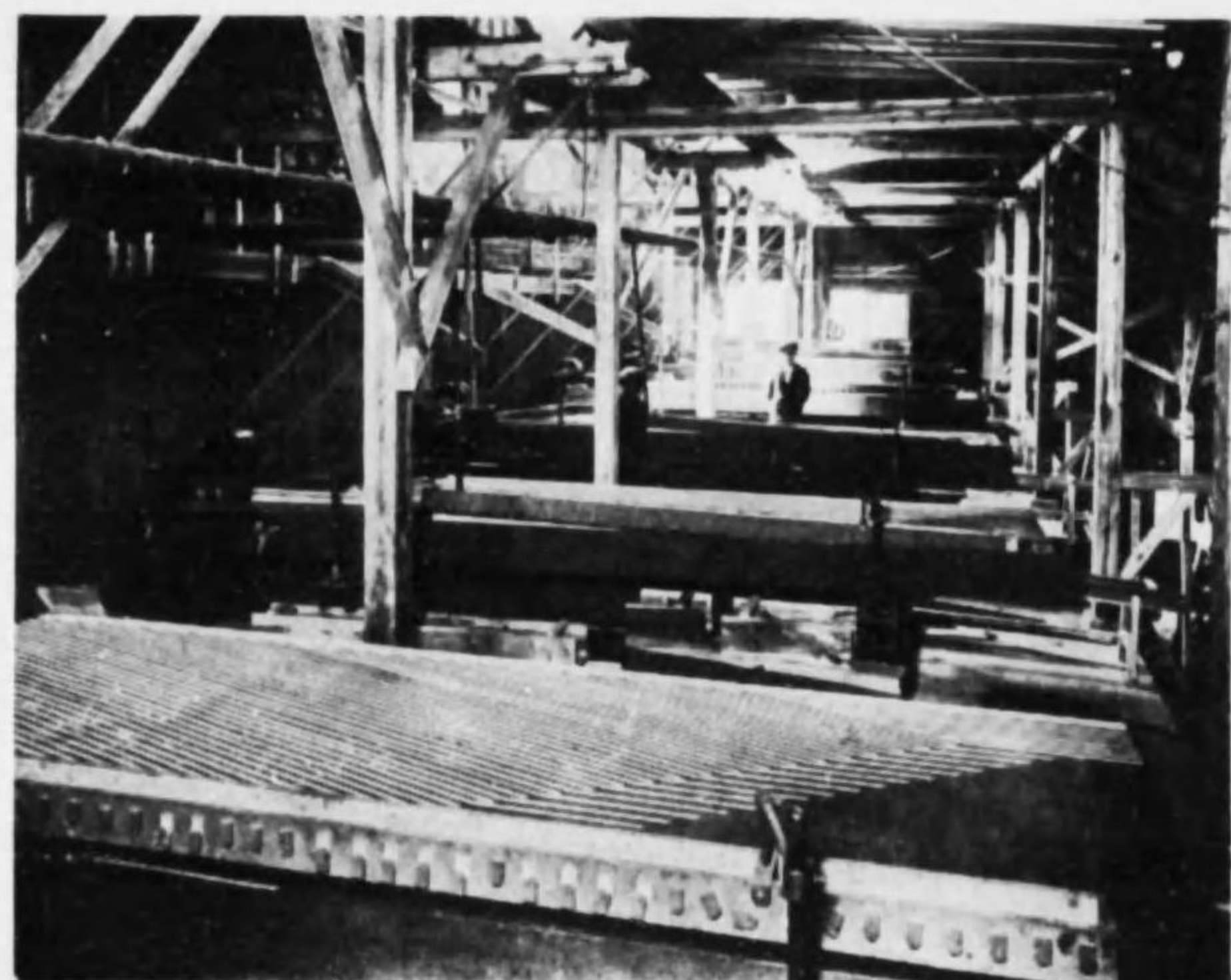


中瀬鎮山全景





中瀬鑛山選鑛場ノ一部  
「ホー、ル、ミル」



「ウキルフレ、テーブル」



澤田鑛山ノ一部

選鑛場



金剛坑口附近



谷坑口附近



上佐ヶ野坑附近





# 日本精鑛株式會社事業概要

## 一、緒言

曩ニ昭和六年末ニ於ケル金ノ輸出再禁止ノ施行セラレシコト、又最近我政府ニ於ケル金保有ノ國策上金ノ價格ハ異常ナル昂騰ヲ示シ、之ガ爲メ時代ノ要求ハ遂ニ産金界ノ活躍ヲ來タルタメ、苟モ金鑛ナランカ喧傳之レ努メ所謂百犬ノ虚ニ吠ユルノ狀アリ。茲ニ於テカ吾社ハ斷然是等ト其ノ趣キヲ異ニシ、嚴然タル専門技術ニヨル設計施業ト圓滑ナル資金ノ投資トニヨリテ、所有セル鑛區數十五鑛區、此ノ面積八百有餘萬坪トヲ擁シ將來益々光輝アル開發發展ヲ確保セントスルモノナリ。

## 二、鑛區

本社所有ニ關ハル鑛區ノ所在、並ニ其ノ鑛種及面積等ヲ列舉スレバ次表ノ如シ。

鑛區一覽 (昭和十一年十二月十日現在)

登録番號	鑛區所在地	鑛種	面積
兵庫縣探掘權 登録第一一九號	兵庫縣養父郡西宮村	金、銀、銅、鉛、安質 母尼、砒鑛	六五九、一〇〇坪



兵庫縣 第三二八四號權	兵庫縣 第三二四四號權	兵庫縣 第三三三三號權	兵庫縣 第一八四號權	兵庫縣 第二九六〇號權	兵庫縣 第三一三三號權	兵庫縣 第三二五〇號權	兵庫縣 第三二〇七號權	靜岡縣 第二四六五號權	靜岡縣 第二四六六號權	靜岡縣 第二四六七號權	鳥取縣 第六五二號權	鳥取縣 第六六二號權	岡山縣 第二九四〇號權	
兵庫縣 養父郡 關宮村	兵庫縣 養父郡 關宮村	兵庫縣 養父郡 關宮村	兵庫縣 美方郡 小代村	兵庫縣 美方郡 小代村	兵庫縣 美方郡 射添村	兵庫縣 美方郡 射添村	兵庫縣 美方郡 溫泉町	兵庫縣 水上市郡 神樂村	靜岡縣 賀茂郡 下河津村	靜岡縣 賀茂郡 下河津村	靜岡縣 賀茂郡 下河津村	鳥取縣 八頭郡 智頭町	鳥取縣 八頭郡 智頭町	岡山縣 英田郡 江見町
金、銀、銅、鉛、安質母尼	格魯漢鐵礦	金、銀、銅、安質母尼鐵	金、銀、銅	金、銀、銅	金、銀	金、銀、銅、錫	金、銀、銅、鉛、亞鉛、硫化鐵	金、銀、銅、硫化鐵	金、銀、銅	金、銀、銅	金、銀、錫	金、銀、銅	金、銀、銅、鉛、亞鉛	
一八六、〇〇〇坪	二一九、六〇〇坪	五三二、〇〇〇坪	二三四、五八〇坪	三四四、一〇〇坪	二二〇、八〇〇坪	六二三、八六〇坪	九九〇、〇〇〇坪	九七〇、七〇〇坪	七七四、八〇〇坪	九五三、四〇〇坪	七四四、三〇〇坪	七二一、〇〇〇坪	四三〇、五〇〇坪	

計十五鑛區

八、六〇四、七四〇坪

### 三、操業ノ現況

前記鑛區中目下探鑛ヲ行ヒツ、アルモノハ、兵庫縣探掘權登錄第一一九號ナル金銀銅鉛安質母尼砒鑛及ビ兵庫縣探掘權登錄第一八四號ナル金銀鑛ニシテ、又試掘ヲ行ヒツ、アルモノハ、静岡縣試掘權登錄第二、四六五號乃至第二、四六七號ニ至ル金銀銅硫化鐵鑛ノ三鑛區ニシテ、前記二者ハ之ヲ夫々中瀬鑛山及ビ小代鑛山ト稱シ、又後三者ハ之ヲ總稱シテ澤田鑛山ト稱ス。現在中瀬鑛山ハ日産約四十噸ノ粗鑛ヲ産出シツ、アルモ、現在建設中ニ關ハル選鑛場完成ノ曉ハ日産百噸ノ元鑛ヲ處理シ得ラルベキヲ以テ、之ガ生産額ノ増加ハ最早目睫ノ間ニ迫レリ。又小代金山ハ中瀬鑛山ノ支山ニ屬シ、盛ニ探鑛及採鑛ヲ行ヒツ、アルモ、現在ハ鑛夫手不足ノ爲メ日産僅ニ五噸内外ノ粗鑛ヲ産出スルニ止マルモ、明春解雪ヲ待チテ増員或ハ増施設ヲ行ヒテ日産十五噸ニ増加シ得ベキ豫定ナリ。

而シテ一方澤田鑛山ハ、目下探鑛ニ重キヲ置キ、坑内粗鑛日産約三十噸ヲ手選シテ賣鑛精鑛約五乃至七噸ヲ得以テ之ヲ賣鑛ニ付シ、他ハ之ヲ選鑛試料トシテ専ラ試驗中ニ屬セルヲ以テ、右成績ノ結果ヲ得テ適當ナル設備ヲ施シ以テ生産ノ合理化、並ニ地下深部ニ對スル堅坑探鑛ニヨル採鑛ノ増産策ヲ企劃セントス。

尙他ノ末着手鑛區ニ對シテモ逐次精査ノ歩ヲ進メ、以テ或ハ探鑛或ハ採鑛ニ着手センモノトス。



今之等三鑛山ニ於ケル鑛況ノ概要ヲ舉グレバ次ノ如シ。

## (一) 中瀬鑛山

### ◇ 位置及交通

山陰本線八鹿驛ノ西方約四里ノ地ニ在リ、該驛ヨリ朝來川ノ支流八木川ノ邊ヲ山陰本街道ニ沿ヒ廻レバ到達シ得ベク、此ノ間道路平坦ニシテ、本山事務所前ヲ過ギリテ八鹿・村岡間ヲ頻繁ニ往復スル乗合自動車アリ交通至便ナリ。尙ホ本山附近ハ冬期積雪多シト雖モ交通杜絶スルコト殆ドナク、二丁餘隔リタル吉井宿ニハ一般物資豐富ニシテ、日用諸雜貨ノ供給ニハ何等不便ヲ感ゼズ。又八鹿町ハ本地方蠶業ノ中心地ニシテ、官衙・學校・工場等アリテ諸物資ノ集散地ヲナシ、附近ヲ流ル、八木川ハ鮎ノ名産地ニシテ八木太郎トサヘ稱セラレ、毎年漁期ニ入ラバ京阪地方ヨリノ鮎狩客頗ル多シ。

### ◇ 沿革

本山ノ開發ハ、遠ク天正元年八月八木但馬守豊信ガ領知タリシ頃、中瀬大日寺ノ傍ニ砂金アリシヲ因州ノ人某來リテ之ヲ見、其ノ山ニ金アル事ヲ知り其ノ條ヲ尋ネテ之ヲ掘リタリシニ始ムト謂フ。翌二年其ノ金穴ヲ石間歩ト稱シ金ヲ得タリシ始メナリ。次テ翌三年、別ニ又一穴ヲ掘リシニ金ノ産

出頗ル多ク、一日七兩ヲ運上セリトテ之ヲ七兩間歩ト謂ヘリ。同五年豊太閤此ノ郡ヲ征伐シ、八木但馬守遂ニ抗シ得ズ城ヲ棄テ、出奔ス。斯テ太閤別所某ヲ八木城ニ置キ此ノ地ノ奉行トナセリ。同十年別所氏ハ丹後ニ遷サレ、是ト共ニ生野領ニ屬シ同年秋此處ヲ中瀬金山町ト稱セリ。同十二年百合山ヲ採掘シ、慶長五年江戸ヨリ間宮新左衛門ヲ生野ニ派シ金山ノ事務ヲ司ラシム。爾後生野代官所ノ管内トナリタリ。其ノ後元祿十五年ニ至リ銅間歩ノ開坑行ハレタリ。

後明治二十六年改メテ帝室御料局ノモノトナリ、同二十九年再ビ生野ト共ニ三菱ノ經營スル所トナレリ。其ノ後幾多ノ興亡盛衰ヲ經テ、大正十年鈴木仁十郎氏ノ有ニ歸シ盛ニ探鑛セラレタリ。尙ホ其ノ後奈良井鑛業部ノ手ヲ經テ昭和十年六月中瀬鑛業會社ノ有トナリ、次デ翌十一年二月天美鑛業株式會社ト合併シテ本社ノ經營スル所トナレリ。

### ◇ 地質及鑛床

本山附近一帶ノ地質ハ、古生層ニ屬スル粘板岩、頁岩及蛇紋岩等ヲ主體トシ、鑛區内各所ニ石英閃綠岩、紫蘇輝石安山岩及ビ玢岩等ノ噴出セルアリ。

而シテ鑛床ノ大半ハ裂罅充填鑛床ニシテ、一部ハ鑛染鑛床ヲナセルモノアリ。主トシテ前記粘板岩ヲ母岩トシ時ニ蛇紋岩中ニ胚胎スルコトアリ。鑛石ハ含金銀安質母尼石英鑛ニシテ、現在知ラル、モ



ノ六條アリテ孰レモ殆ンド互ヒニ平行シ、夫等ノ走向ハ略ミ北七八十度西、傾斜ハ北東六七十度ヲ示セリ。

斯クテ其ノ鑛幅ハ、鑛染セル箇處ニアリテハ八尺乃至十尺ニ及ビ、品位亦金五十乃至七十<sup>g</sup>/<sup>ton</sup>アレド、脈狀ヲナセル箇所ニ於テハ其ノ鑛幅五寸乃至四尺ニシテ其ノ品位頗ル高ク、自然金ヲ多量ニ含有スルコトアリテ、時ニ十%内外ニ及ブモノアリテ、普通賣鑛ニ付セラル、モノハ平均七十乃至百五十<sup>g</sup>/<sup>ton</sup>ニシテ、下鑛ト謂ヘドモ二三<sup>g</sup>/<sup>ton</sup>アリ又安質母尼鑛ハ平均三十%アリテ、目下主トシテ稼行セル鑛ハ本鑛及ビ本間歩鑛トニシテ、本鑛ノ如キハ此ノ附近地並以下百八十尺ニ及ベルモ常ニ自然金ノ産出ヲ見ル。

#### ◇ 探 鑛

現在坑夫、雜夫、選鑛夫等百二十名ヲ使用シ、自然金ヨリ得タル自山精金ヲ月産約五百匁、又手選精鑛ヲ約百二十匁、其ノ他安質母尼鑛約貳拾匁トヲ産シツ、アリ。而シテ之等ノ探鑛ニ對シテハ、目下五十馬力ノ「デイーゼル・エンヂン」ニ依リテ自家發電ヲ行ヒ、以テ坑内ノ捲揚機、鑿岩機、排水唧筒、坑内點燈及ビ坑外ノ分析爐用送風機、「シャープナー」、試料粉碎機等ニ使用セラレツ、アリ。如斯而坑内作業ヲ行ヒツ、アルモノハ石間歩坑及ビ大切坑トニシテ、之等兩坑ノ現況ハ大要次ノ如

シ。

#### 石間歩坑

現在主トシテ稼行セルモノニシテ、事務所地並ニ開坑セルモノヲ本坑ト稱シ、夫レヨリ垂直距離六十尺宛ヲ隔テ、下方ニ一番坑、二番坑及ビ三番坑アリテ孰レモ皆鑛押坑道ニシテ、一番坑ハ走向ニ沿ヒテ延長千八百尺、二番坑ハ千六百二十尺、三番坑ハ三百尺ニ達シ、是等ハ豎坑ニ依リテ連絡セラレ、本坑地並ニ於テ坑内ニ捲揚裝置アリテ各坑道ノ鑛石及捨石等ノ搬出ニ充ツ。而シテ探鑛ハ是等各坑地並上一番坑、中切坑及ビ本坑地並斷層脈鑛押ヲナシ、又從來ノ殘鑛ノ一部ヲ段缺ヲ以テ採掘中ナリ。

#### 大切坑

本間歩鑛大切坑ハ戰國時代ニ開坑セル舊坑ト思ハル。而シテ本坑鑛入ノ着脈附近上磐中ニ、八九尺ノ幅ヲ以テ鑛染鑛床トシテ有望ナル箇所アルヲ發見セシカバ、之ガ磐擴ゲヲナシツ、アルモ該所ヨリ自然金ノ多量ヲ屢々産出シツ、アリ。

此ノ他萬壽坑、銀切坑、笹倉坑、七兩間歩坑或ハ銅鑛坑等アレドモ遂次精査ノ上着手ノ歩ヲ進メントシツ、アリ。

#### ◇ 探 鑛 計 劃

將來ニ於ケル鑛量保有ノ安全性ノ増大ヲ期スベク、石間歩本坑地並ヨリ北方ニ向ケ約二千尺ノ鑛入







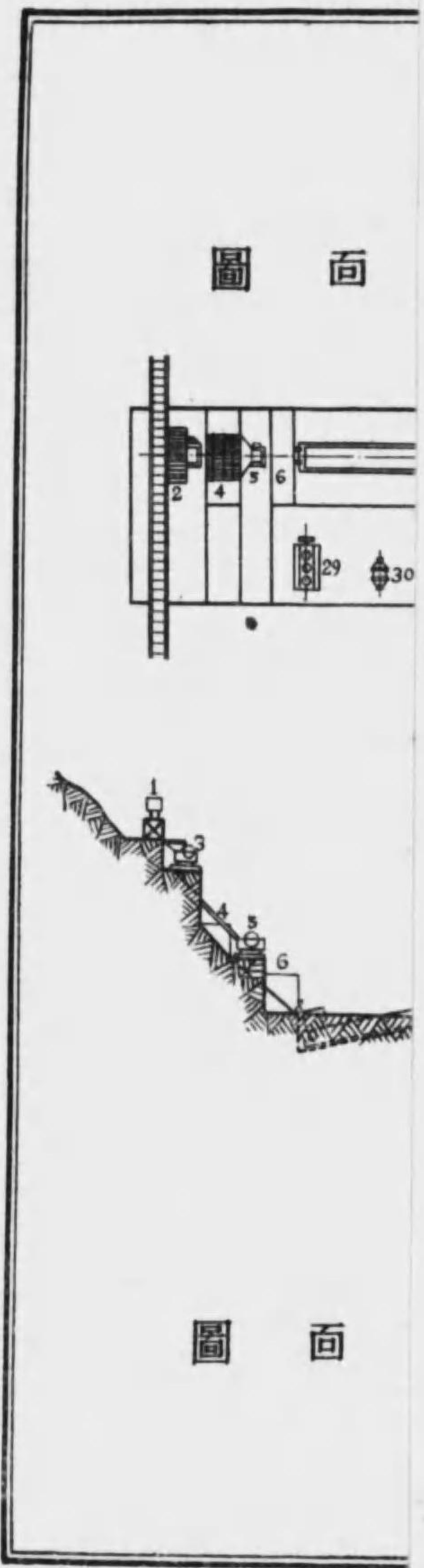
探鑛坑道ヲ掘鑿シ、大切鑛ノ下部七百尺ノ箇所ニ着脈セシメ、途中銀切鑛、銻倉鑛、萬壽鑛又ハ七兩間步鑛等ノ各鑛ヲ縫ハントスル計劃ヲ樹ツル一方、本坑準下部ノ鑛況ヲ調査センガ爲メ一千尺ノ豎坑掘下探鑛ヲ行ハントス。而シテ右探鑛完了ノ結果、相當有望性アル鑛量ノ埋藏セルヲ確保スルニ到ラバ、更ニ既設備ノ擴充我ハ其ノ改造ヲモ圖リ、以テ本社事業ヲ益々進展セシメントスモノナリ。

◇ 選鑛及精鍊

選鑛場ハ一日ノ處理鑛量百吨ノ能力ヲ有スルモノトシ、其ノ建家ハ亞鉛鍍銀葺平家建ニシテ總建坪四百八十六坪餘アリ、最上部ト最下部トノ高差百二尺五寸ニシテ、擁壁ハ大半鐵筋混凝土ヲ使用シ一部間知石積ヲ使用セリ。

斯而選鑛ノ方法ハ、金銀鑛ニアリテハ之ヲ全泥式選鑛法オーストラリスラムヲ採用シテ精鑛トナシ、之ヲ製鍊所ヘ賣鑛シ、又安質母尼鑛ハ坩堝乾餾法ニヨリテ硫化安質母尼トナシテ之ヲ市場ニ販賣スルモノナリトス。而シテ之ニ要スル原動力ハ、百五十馬力「ディーゼル、エンデン」一基、七十五馬力「ディーゼル、エンデン」二基計三百馬力ヲ使用シ、内一部ハ之ヲ選鑛機ニ直結シ、他ハ一段之ヨリ電力ニ換ヘ以テ各機械ニ配電ス。

尙ホ一ヶ月間ニ於ケル本選鑛場ノ鑛種別豫定處理鑛量並ニ生産高ヲ表示スレバ次ノ如シ。



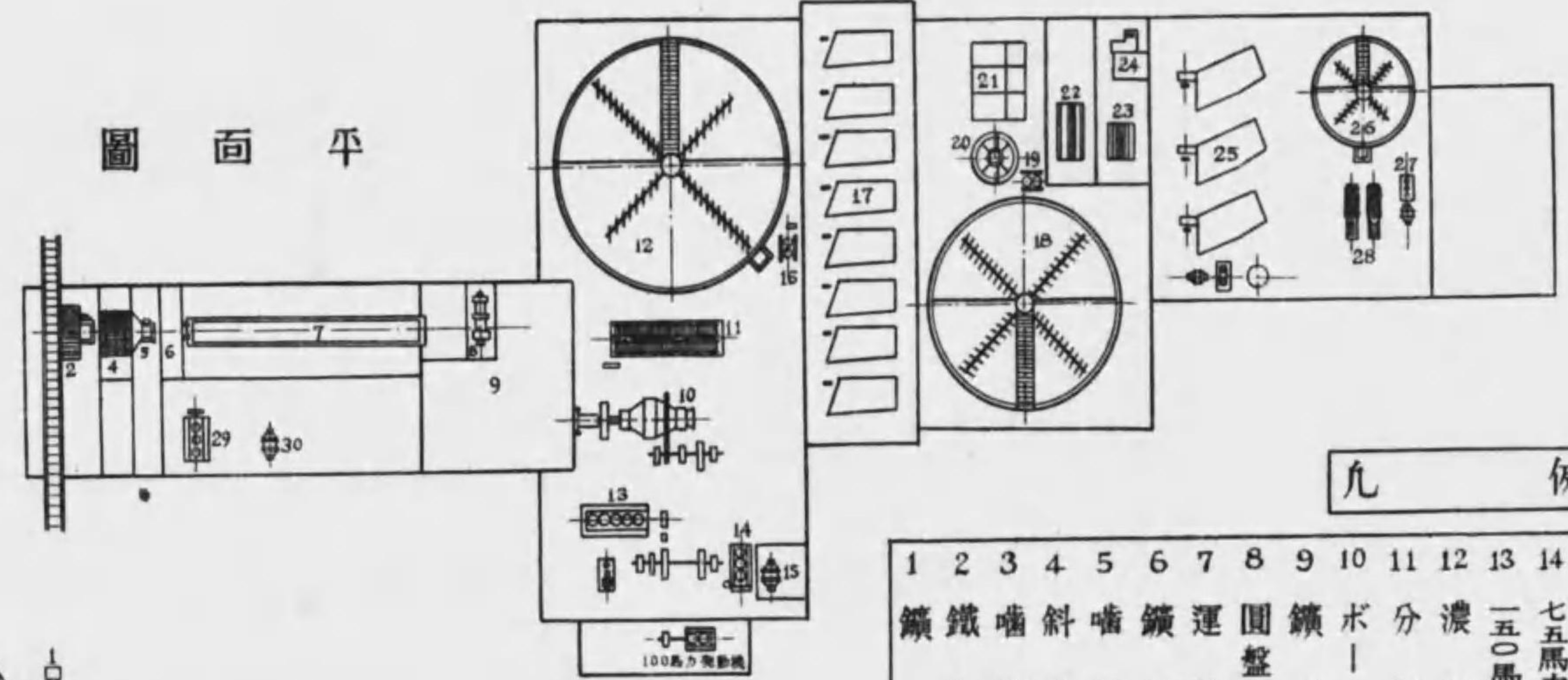


斯而選鑛ノ方法ハ、金銀鑛ニアリテハ之ヲ全泥式選鑛法ヲ採用シテ精鑛トナシ、之ヲ製鍊所へ賣鑛シ、又安質母尼鑛ハ坩堝乾餾法ニヨリテ硫化安質母尼トナシテ之ヲ市場ニ販賣スルモノナリトス。而シテ之ニ要スル原動力ハ、百五十馬力「ディーゼル、エンデン」一基、七十五馬力「ディーゼル、エンデン」二基計三百馬力ヲ使用シ、内一部ハ之ヲ選鑛機ニ直結シ、他ハ一段之ヨリ電力ニ換ヘ以テ各機械ニ配電ス。

尙ホ一ヶ月間ニ於ケル本選鑛場ノ鑛種別豫定處理鑛量並ニ生産高ヲ表示スレバ次ノ如シ。

中瀨山選鑛場配置圖

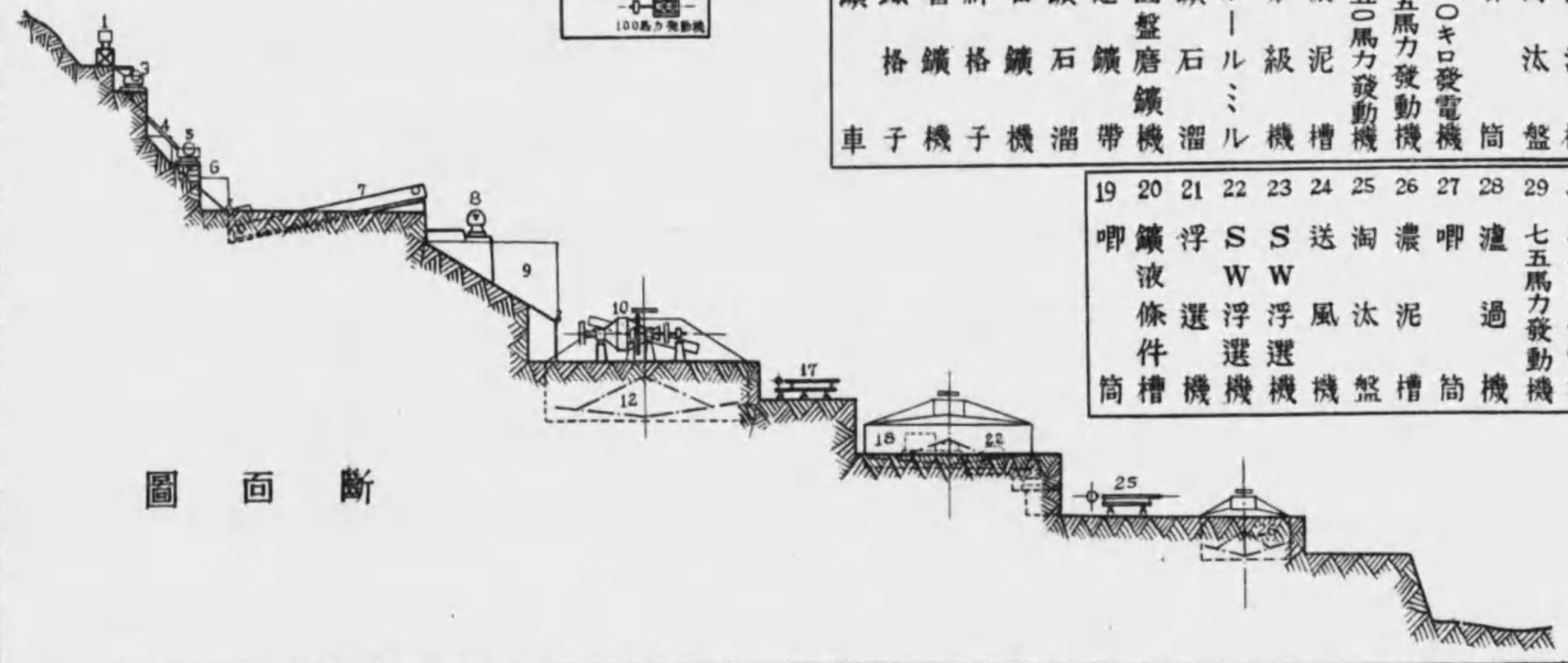
平面圖



例

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
鑛鐵	嘴	斜	嘴	鑛	運	圓	鑛	ボ	分	濃	一	七	五	五	唧	淘	濃
格	鑛	格	鑛	石	鑛	盤	石	ル	級	泥	五	七	五	五	筒	汰	泥
車	子	機	子	機	溜	帶	機	溜	機	槽	機	機	機	機	機	盤	槽
19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						
唧	鑛	浮	S	S	送	淘	濃	唧	漚	七	二						
液	選	選	浮	浮	風	汰	泥	過	七	五	二						
條	機	機	選	選	機	盤	槽	筒	五	馬	力						
筒	槽	機	機	機	機	機	機	機	發	動	機						

斷面圖







選礦精鍊元礦			精礦及製品		
礦種	品位	處理礦量	種別	品位	生産數量
金銀礦	金 一〇 瓦/噸	二、五〇〇 噸	金銀精礦	金 九〇 瓦/噸	二五〇 噸
安質母尼礦	銀 一〇 瓦/噸	三〇 噸	硫化安質母尼	銀 八〇 瓦/噸	五・八五 噸
	三〇%			六五%	

追而之ガ操業ノ方法並ニ經路ハ別圖ニ示セル系統圖ノ如シ。

◇ 結 論

現在ノ狀態ヨリ之ヲ觀テ將來ヲ斷言スルハ尙早ノ感アレド、現在ノ稼行狀況、採礦品位、鑛脈ノ性狀、走向及ビ深度等ヨリ推測スルニ將來益々發展ノ可能性アリト謂フヲ得ベク、又前述ノ如キ採礦完了ノ曉ハ、必ズヤ我が國有數ナル鑛山ノ一タルベキモノトナラン。

(二) 小代鑛山

◇ 位置及交通



山陰本線香住驛ヨリ、矢田川ニ沿ヘル縣道ニヨリテ迦ルコト六里ニシテ小代村神水ニ達ス。本山事務所ハ即チ此ノ神水ニ在リ。之ヨリ大谷町ヘハ僅カ四町ニシテ、同町ニハ警察署・銀行・郵便局・小學校等アリテ人口數千、物資豐富ナリ。此ノ附近一帶ハ養蠶ヲ主トシ頗ル純朴ノ風アリ、香住驛ヨリ乗合自動車ノ便アリ約四十分ニテ到達シ得ベシ。

氣候ハ冬期相當ニ積雪多シト雖モ交通ノ杜絶スルコトナク、山間ノ地トシテハ比較的交通運輸共至便ノ地ナリ。

◇ 地質及鑛床

本山附近一帶ノ地質ハ大半古生層ニ屬スル粘板岩ヨリナリ、北東ノ一部ニ第三紀ニ屬スル火山岩及變朽安山岩ノ露出スルモノアリ。鑛床ハ主トシテ右粘板岩中ノ裂隙ヲ充填セル含金銀石英ノ正規鑛脈ニシテ平行數條アリ、其ノ走向概ネ北八十度西、傾斜ハ北東六十度ヲ示セルモノト、又走向北五十度東、傾斜北西六十度ヲ示セルモノトノ二群アリ。鑛幅ハ五寸乃至三尺ニシテ、鑛石ハ硫化物ヲ混入スルコト極メテ少ク單純ナル石英鑛ナリ、而シテ其ノ品位ハ各鑛ニヨリテ多少ノ相違アレドモ、平均金ハ十五<sup>五</sup>/<sub>一〇〇</sub>、銀ハ十五乃至二十<sup>五</sup>/<sub>一〇〇</sub>ニシテ、殊ニ美方坑ヨリ産出セル最上鑛ノ如キ金二百九十八<sup>五</sup>/<sub>一〇〇</sub>、銀百二十二<sup>五</sup>/<sub>一〇〇</sub>ナル高品位ヲ有スルモノサヘアリ。

◇ 採鑛及探鑛

現在坑夫及ビ雜夫等三十名ヲ使用シ日産約五噸ヲ産シツ、アリ。而シテ之ガ稼行ニ着手セルモノハ本坑及ビ美方坑トノ二坑ノミニシテ、他ニ數坑アレドモ、目下鑛夫ノ手不足ニヨリ明春解雪ヲ待チテ大増員ヲ施シ、以テ日産十五噸乃至二十噸ヲ増産センモノト企劃シツ、アリ。而シテ之等兩坑ノ現況ハ大要左ノ如シ。

**本坑** 選鑛場裏本鑛區ノ北部ニ位置シ海拔七百米ノ箇所ニ在リ。新一番坑ヨリ四番坑迄高差約四百尺、各坑道百尺ノ間隔ヲ置キテ開坑セリ。尙本坑ニ番坑ノ延長約千尺ニ達シ本坑中最大延長ノモノナリ。坑道ハ四五ノ加背ニテ鑛押探鑛ヲ以テ掘進シツ、アリ。兩磐軟弱ナル爲メ支柱ヲ要スルコト甚シ。而シテ一番坑ヨリ四番坑ニ到ル間ニ相當ノ殘鑛アルヲ以テ現在之ヲ段缺ニヨリ探鑛シツ、アリ。

**美方坑** 坑道ノ延長約三百尺ニシテ、鑛押ニ掘進シ途中ヨリ三十尺ノ掘上リヲナシ又引立附近ニテ小斷層ニ會セシモ北方ニ僅カ六尺ニテ再ビ着脈シ目下探鑛中ナリ。如斯探鑛ヲ主トシ傍ラ探鑛ヲ行ヒツ、アリ。

此ノ他辰次坑、田村右坑、田村左坑及第一坑等アレド總テ期ヲ見テ探鑛或ハ探鑛ニ着手セントス。

◇ 結 論



本山ハ本社ノ有ニ歸シテヨリ未ダ日尙ホ淺ク充分ナル結果ヲ得ズト雖モ、從來主トシテ稼行セル本坑ハ底部ニ於テ幾分品位低下セルノ感アレドモ、坑道千二百尺ノ延長中斷層全クナク、又下部探鑛ハ地形上ヨリ見テ鑛入探鑛ハ極メテ容易ニシテ頗ル好條件ニ惠マレ、尙ホ本坑、田村坑間鑛入ヲ以テ約九百尺連絡スルトキハ、田村坑ノ下部七百尺ヲモ捕獲シ得ベシ。

美方坑ハ其ノ坑口ガ山頂近クニアリ、澤深クシテ此處ノ探鑛亦簡單ナルヲ以テ、現在上部ノ品位其ノ他ヨリ推定シテ下部ニハ良品位ナルモノ埋藏セルモノト認メ得ベク、何分現在從業者手不足ノ爲メ充分ナル探鑛ヲ行フコト能ハザルモ、爾今探鑛成績ノ結果良品質ナル鑛床ヲ發見シ得ベキ可能性ヲ充分ニ有セルガ爲メ將來屈指ノ良鑛山トナルニ至ルベシ。

### (三) 澤田鑛山

#### ◇ 位置及交通

本山ハ伊豆半島ノ殆ンド東南端近クニ位シ、之ガ交通路ニハ三途アリテ、一ハ東海道本線熱海驛ヨリ東海岸ニ沿ヒテ十八里、峯温泉ニ到ラバ鑛山事務所ハ右温泉ヨリ四町ノ處ニアリ。又一ハ駿豆鐵道本線修善寺驛ヨリ天城山ヲ越エテ十里半以テ峯温泉ニ到達シ得ベク、他ハ海路下田港ニ至リ之ヨリ陸路三里半ニシテ該温泉ニ到ルヲ得ベシ。而シテ孰レノ道路ヲ採ルモ乗合自動車ノ往來頻繁ニシテ、東

京ヨリ僅カ四時間半ニテ現場ニ達スルヲ得、以テ交通運輸共至便ノ地ナリトス。

尙本山附近ハ氣候頗ル溫暖ニシテ冬期ト雖モ降雪スルコト殆ンドナク、四季ヲ通ジテ操業上ニハ何等ノ支障ヲ及ボスコトナク、又附近ニハ温泉ノ湧出夥シク峯、谷津及ビ湯ヶ野等著名ノ温泉アリテ絶好ノ保健地トシテ浴客ノ絶間ナク、從ヒテ諸物資モ亦豊富ニシテ、加之附近ヲ流ル、河津川ノ清流ハ鮎ノ養殖地トシテ其名高ク、附近住民ノ生活亦豊カナリ。

#### ◇ 地質及鑛床

本山附近一帶ノ地質ハ、所謂第三紀御坂層ニ屬スル凝灰岩其ノ大半ヲ占メ、東北隅ノ一部ニハ變朽安山岩ノ露出セルアリ。而シテ其ノ上部ニハ往時噴出セラレシ天城山爆發時ノ火山砂礫ヲ以テ被覆セラレ、處々ニハ熔岩流或ハ熔岩塊ノ轉石アルヲ見ル。尙ホ之等火山砂礫ノ厚サハ非常ニ不規則ニシテ、薄キハ數尺ヨリ厚キハ十尺乃至二十尺ニ及ベル箇所アリ。即チ金山澤及ビ金剛澤附近ノ現在稼行セル附近ハ其ノ厚サ頗ル薄ク、後方ノ山頂ヨリ三筋山ニ亘リテハ相當ニ厚層トナリ、又上佐ヶ野探鑛現場附近モ極メテ薄ケレドモ、附近ノ畑地ヲ構成セル箇所ハ殆ンド之等ノ火山砂礫ヨリ成リ、主トシテ桑、粟或ハ豌豆等ヲ耕作シ、年産相當ノ收穫ヲ擧ゲツ、アリ。

鑛床ハ主トシテ前記凝灰岩中ノ裂罅ヲ充填セル含金銀石英鑛脈ニシテ、其ノ分布ハ之ヲ大別シテ澤



田區及ビ上佐ヶ野區トノ二箇ニ分カタル。

**澤田區** ニ在リテハ檜山坑、谷坑及ビ金剛坑ト稱スル各鑛入坑ヲ掘鑿セルニ十數條ニ達スル鑛脈ニ遭遇シ、之等ハ前記ノ如キ鑛脈ニテ其ノ走向孰レモ北八十度西、傾斜北東七十度ヲ示シ、其ノ鑛幅三寸乃至二尺ニシテ時ニ四尺ニ達スルコトアリ、地表近クニ於テハ膨縮甚ダシキモ、掘進ノ度進ムニ連レ次第ニ相繼マレリ。而シテ之ガ品位亦一樣ナラズシテ、金一乃至二<sup>五</sup>/<sub>一〇〇</sub>ヨリ二〇乃至三〇<sup>五</sup>/<sub>一〇〇</sub>ニ達シ、銀ハ二〇乃至三〇<sup>五</sup>/<sub>一〇〇</sub>ヨリ九〇〇乃至一、〇〇〇<sup>五</sup>/<sub>一〇〇</sub>ニ至ルモ、平均金ハ一四乃至一五<sup>五</sup>/<sub>一〇〇</sub>、銀ハ四〇〇乃至五〇〇<sup>五</sup>/<sub>一〇〇</sub>内外ニシテ、時ニ金二〇四<sup>五</sup>/<sub>一〇〇</sub>、銀七、七七六<sup>五</sup>/<sub>一〇〇</sub>ノモノヲ産出セシコトアリキ。斯クテ品位モ亦坑内掘進度ノ進ムニ從ヒテ一樣トナリ來タルヲ以テ、茲ニ稼行ノ確實性ヲ確立スルニ至レリ。

**佐ヶ野區** ニ於テハ佐ヶ野溪流傍ヨリ鑛入坑ヲ掘鑿セシニ目下五條ノ鑛脈ニ相會シ、各鑛ニ對シ夫々鑛押探鑛ヲ開始セリ。之等ノ鑛床モ前記澤田ノ鑛床ト全ク同様ニシテ、走行ハ北七〇乃至八五度西、傾斜北東七〇乃至八〇度ニシテ、鑛幅二寸乃至三尺ニ達シ、之亦膨縮一樣ナラズ、品位亦金ハ二乃至一六<sup>五</sup>/<sub>一〇〇</sub>、銀、ハ五五〇乃至一二〇〇<sup>五</sup>/<sub>一〇〇</sub>ニ達シ頗ル變化著シキ有様ナレド、坑道ノ延長進ムニ從ヒ鑛幅及ビ品位共次第ニ安定シ來タル見込ナリトス。

### ◇ 探 鑛

現在鑛山長以下十一名ノ所員ノ下ニ、約百名ノ鑛夫ニヨリ各鑛先キノ探鑛ニ從事シ旁々探鑛ヲ行ヒツ、アルモ、現在ハ探鑛ニ重キヲ置キツ、アレバ出鑛量ハ未ダ僅カニ日産三十吨ニ過ギザルモ、鑛量ノ確定、各切端ノ整備トヲ待チテ探鑛ノ増産ヲ計劃セントスルモノナリ。

### ◇ 選鑛及精鍊

金剛坑及ビ谷坑トノ兩坑口前ニ手選場ヲ設備シ、大割及ビ小割ヲナシタル後、上鑛、中鑛、下鑛及ビ精鍊場廻シトノ鑛石ニ分カツ。又谷坑口前ニハ嚙鑛機ヲ置キテ鑛石ヲ破碎處理シツ、アリ。精鍊所行ノ鑛石ハ簡易索道ニヨリテ之ヲ精鍊所ニ送り、搗鑛機、淘汰盤、油選機及ビ「ゴールド」テックスル桶等ヲ用ヒテ多少ノ汞金銀及ビ精鑛ヲ得ツ、アリ。

### ◇ 結 論

本鑛山ハ前述ノ如ク天城連山中ノ稍々東南端ニ位シ、附近ニハ大池、小池等ト稱スル舊火口アリテ、之ハ現在稼行セル鑛床附近ニアルガ爲メ鑛床ノ性質頗ル不規則ニシテ其ノ變化ヲ受クル事甚ダ夥



シク、且ツ地表ヨリノ深度未ダ深カラザルヲ以テ品位一定セズト雖モ、富鑛部ニ於テハ金二〇〇<sup>五</sup>/<sub>一〇〇</sub>、銀三〇、〇〇〇<sup>五</sup>/<sub>一〇〇</sub>ノ良好ナルモノヲ産シタルニ鑑ミ、深ク下部ニ至ルニ從ヒ母岩モ其ノ變化ヲ受クル程度ヲ減ジ本體ニ入ルガ如キ感アリ。且ツ附近ニハ日本鑛業株式會社所有ニ拘ル河津金山等アリテ相當ニ有望ナルモノノ如ク、極力探鑛ニ全勢力ヲ集注シ以テ第二次計劃ヲ樹立スベキモノナリトス。

尙ホ上佐ケ野坑ニ於テハ、鑛勢有力ニシテ交通至便且ツ鑛幅大ナルモノアルベシト推察セラレ、之亦極力探鑛ヲ進行スベキモノトス。

又一般ニ伊豆地方ノ鑛床ノ例トシテ、上部ハ二次的變化ニ依ルカ品位概シテ良好ナラズ鑛脈亦不安定ナルモ、深ク進ムニ從ヒテ品位次第ニ上昇スルト共ニ鑛況安定スルヲ殆ド常例トナスニ、我澤田鑛山ハ未ダ其ノ稼行箇處海拔四〇〇米以上五五〇米ノ高所ニアルヲ以テ、富鑛部ニ於テ鑛坑ヲ掘下シ以テ下部探鑛ヲナサント企劃シツ、アリ。

### 日本精鑛株式會社事業概要 畢

昭和十一年十二月十五日印刷納本  
昭和十一年十二月二十日發行 (非賣品)

東京市麴町區丸ノ内一丁目六番地一  
東京海上ビル新館

日本精鑛株式會社

發行兼編輯人 大 郷 盛 八 郎

東京市深川區白河町四丁目一ノ一

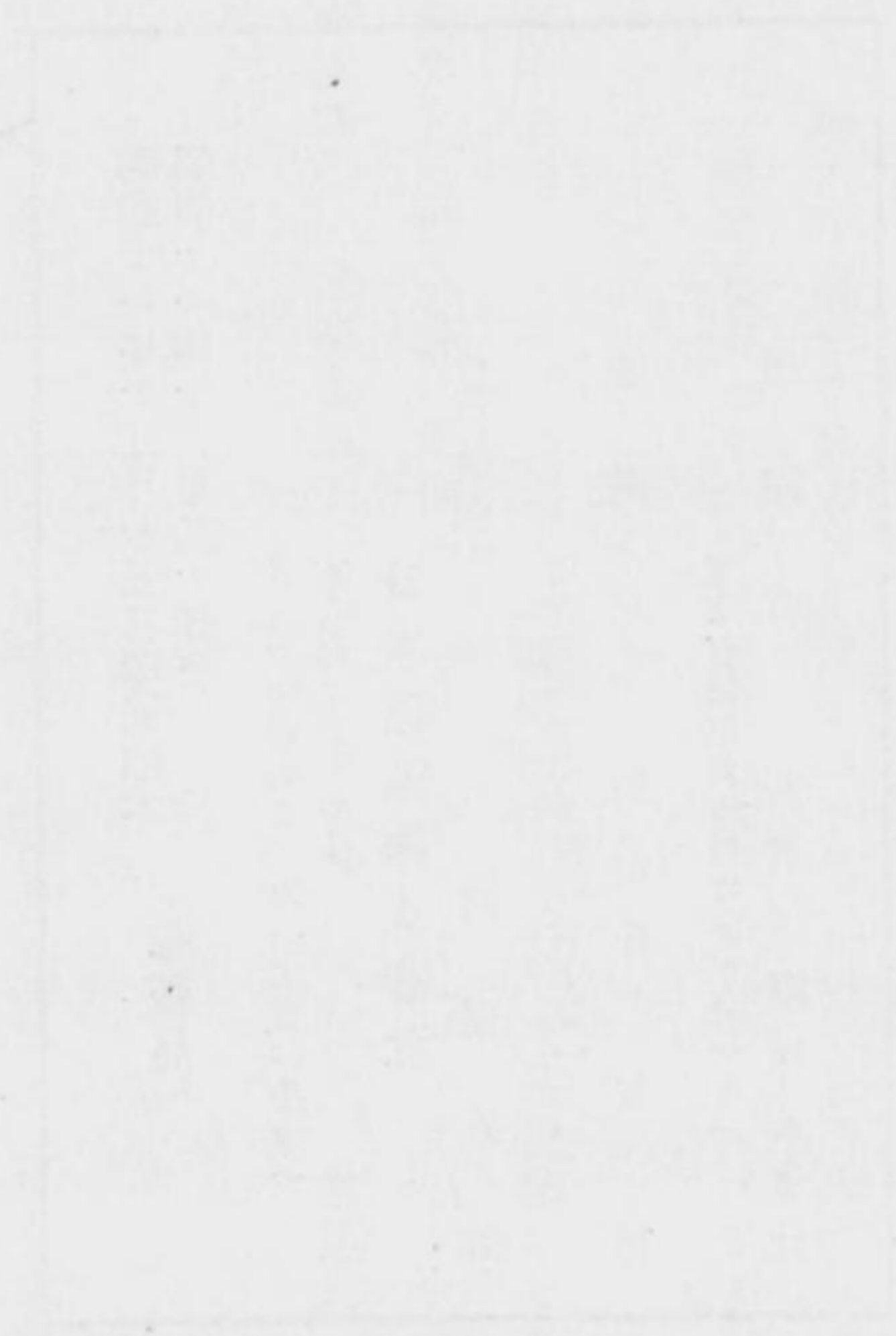
印刷人 松 井 方 利

東京市深川區白河町四丁目一ノ一

印刷所 東京印刷株式會社



342
850





終